

北海道留寿都高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和4年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	農業体験をとおして自分の良さを知り、前向きに進路実現を図る態度を育てます。	A	生徒一人一人と向き合う教育をとおし、個性や長所を伸ばします。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	コミュニケーション能力を高め、多様な考え方を認める生徒の育成を図ります。	B	チームでの活動を通して小さなコミュニケーションから広げて行きます。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	地域にあった新しい特産物の可能性の探究を図ります。	B	新しい品種や作目を積極的に栽培し、地域への適性を調査します。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	食の大切さを学び、食農教育の実践をとおして地域に貢献します。	A	農業のやりがいを体感し、食への感謝の心を育てます。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	循環型農業の実践をとおして、地域の自然を守る態度を育成します。	B	生態系の仕組みを理解し、環境に優しい農業について考える機会を広げます。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	地域の子供たちとの交流を推進し、農業の大切さを伝えます。	A	他の教育機関と協力し、農業交流のあり方や目的を深化させます。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	I C T環境を有効に活用し、前向きに取り組む姿勢や能力を育成します。	A	ChromeBook等を生かした通信や伝達を活用して、新しいプレゼンテーション環境を構築します。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	G A P教育を活用し、安心安全な環境や地域作りに貢献します。	B	G A Pの学習や認証への取り組みから、安全への意識や方法を身に付けさせます。